

いなべ市情報誌



年末号

2021
vol.217

関係人口とつくる

チイキノミライ



○いきマイタウン
大安中学校木太鼓演奏

○PICK UP
市民表彰受章者



関係人口とつくる

チイキノミライ

日本は、人口減少、少子・高齢化により地域づくりの担い手不足の課題に直面しています。そんな中、関係人口と言われる地域へ多様な形で継続的に関わる人々が現れています。地域の未来を誰とどのようにして作り上げていくのか。今月号では、地域の未来を考えます。

人口が減る日本

昨年実施した国勢調査の速報値が6月に発表され、平成27年に実施した前回調査に続き、日本の人口が減少したことが分かりました。地域別で見ると東京都、神奈川県など都市部の9都府県で人口増加した一方で、地方では人口減少が進行。三重県では前回調査から減少割合が増え、さらに人口減少が進んでいます。

いなべ市では、住民基本台帳によると出生数が死亡数を下回る状態が続いており、人口が微減しています。この10年で、高齢化率は22.8%から28.8%に上昇し、超高齢社会を迎えています。15歳以下の割合は13.8%から12.2%になり、少子化も進んでいます。

地域づくりの担い手不足に

地方で人口減少、少子・高齢化が進むと、経済規模の縮小、労働力不足などさまざまな課題に直面します。そして、地域づくりの担い手不足が深刻な課題になります。平成26年に「まち・ひと・しごと創生法」が施行され、国は地方創生のスローガンのもと、地方の人口減少の歯止めをかけ、東京一極集中を是正する政策を掲げました。そんな中、地域外から積極的に地域に関わろうとする関係人口と呼ばれる人たちが登場し始めました。平成30年には、総務省が「関係人口」創出事業を実施するなど、地方での地域づくりの新たな担い手として期待されています。

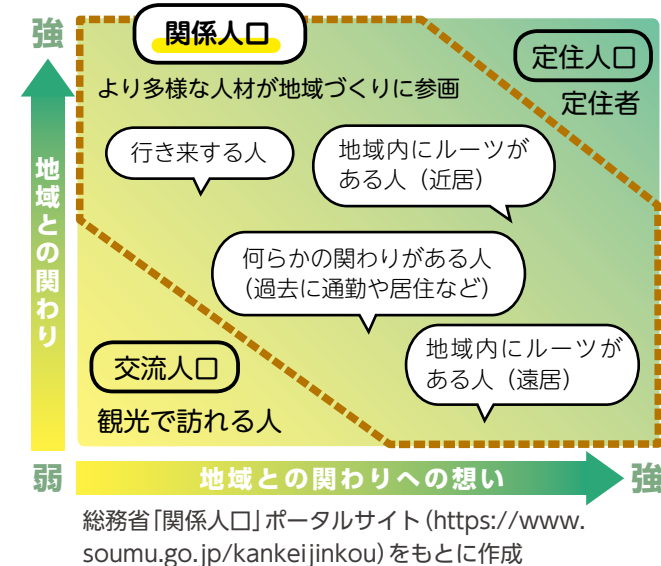
関係人口の登場で未来は安泰？

関係人口の登場で、地域の未来は安泰になるのでしょうか？そうではありません。関係人口は、地域づくりを全て担ってくれるスーパーマンではないのです。

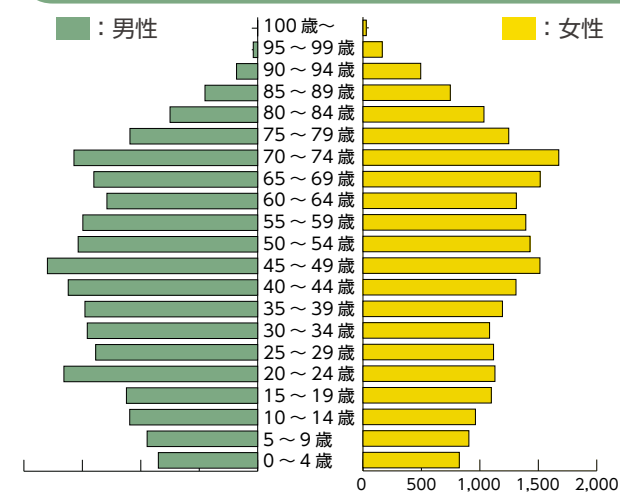
地域には、その空間でしか味わえない魅力的な資源（ヒト・モノ・トキ）があります。その魅力に引き込まれて地域外から市を訪れて、何度も通うと愛着が生まれていきます。「何度も訪れるうちに」「生まれた所だから」と愛着が生まれる理由は人それぞれ。共通するのは、地域への愛着は地域づくりの原動力になるということ。地域に魅力を感じ、それが愛着になって地域づくりへの参画に結びついている動きを紹介します。

関係人口ってなに？

移住した定住人口でもなく、観光にきた交流人口でもない、地域と関わる人のことを指します。



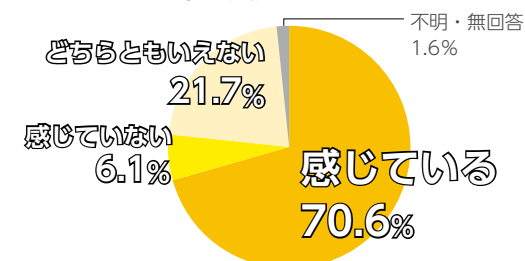
市の年齢構成ピラミッド



資料：住民基本台帳(令和3年1月1日現在)
団塊の世代が70歳以上になり、子どもの人口に膨らみがなく、少子・高齢化が進んでいます。

市内中学生の愛着度がアップ

いなべ市に愛着を感じますか？



令和元年に実施した「市民満足度(中学生調査)」で、市に愛着や親しみを感じるかについて聞いたところ、7割が「感じている」と回答。58.5%だった平成26年の調査から大幅に上昇。若い世代に、ふるさとへの愛着が育まれています。

山崎さんが思ういなべの「い〜な」

ヒト

地域の人々



山崎 基子さん

いなべのヒト・モノ・トキに魅力を感じて、積極的にいなべに関わる人たちがいます。
共通して見えてくるのは、いなべを「い〜な」と思う気持ちです。

人と人をつなぐ

通う側から迎える側に

平成30年4月から3年間、市の地域おこし協力隊として移住促進の活動をしてきた山崎基子さん。いなべに移住したい人と、市内で空き家の管理に困っている持ち主とを結びつける「移住おたすけ隊」になって、14組の移住に関わってきました。

四日市市に住んでいた山崎さんは、元々田舎暮らしに憧れがあり、いなべ市に住む友人の意見を参考に移住を考えるように。3、4カ月ごとにいなべに通っては空き家を探しましたが、なかなか見つかりませんでした。実際に、いなべに移住するまで2年半かかったそうです。「空き家はあるのに、移住が出来ない…」そんな苦労をしたからこそ、移住促進に関わろうと決心したそうです。

「なんでこんなところに来たん？」

移住希望者に空き家を紹介する中で、地域の人から「なんで、わざわざこんなところに？」と言われることもあったそう。

「空の広さや静寂さ、夕日の美しさなど、いなべの魅力はたくさんあります。長年住んでいる人と、よそ者の私では、違う視点で見ることが出来る。それがとても大切だと思う」と教えてくれました。

外の視点だからこそ気付く魅力

いなべの魅力は、「人」と話す山崎さん。いなべに来て、地域の人子どもたちに挨拶する姿に驚いたそうです。

「都会では大人が子どもに話しかけることが少ないので、びっくり」いなべならではのひとと人とのつながりを温かく感じるそうです。地域の魅力的な人々と関わるうち

に、地域の人とよそ者の交流が盛んになると良いと思うように。

古民家を「みんなの拠点」に

令和元年5月に、藤原町西野尻でおくどさん(かまど)がある古民家と出会います。その古民家を修繕し、今年6月に「okudo 中村舎」という地域の活動拠点をオープンさせました。集う人々とおくどさんを囲みながら、学び合える空間にしたいとの思いから「舎」という文字を使用。山崎さんは「地域の人とよそ者が協力して、面白い化学反応が起こる場になれば」と期待しています。

いなべに通うことから始め、移住者を迎え、地域の拠点づくりに至るまで、さまざまな関わり方を経験した山崎さん。その姿は、関係人口に多様な関わり方があることを体現しているようです。



1.okudo 中村舎の前に並ぶ運営メンバー。月に一度集まり、片付けや畑の手入れなどを行っている 2.この古民家を活用する決め手になったおくどさん 3.おくどさんで炊いたご飯をみんなで味わう。メンバーの佐藤美紀さんは「親戚の集まりみたい」と話す

「okudo 中村舎」ってどんなところ？



藤原町西野尻 1040
Tel.37-4014
[定休日] 日・月曜日
※令和4年1〜3月は工事のため休館

築200年の古民家を修繕し、地域の活動拠点として運営しています。現在、山崎さんを含めて7人の運営メンバーがいます。時間制のコワーキングスペースやレンタル会議室として利用可能。令和4年4月から「かまどごはん屋さん」にリニューアル予定。そのほか、いなべの食を体験できるワークショップを随時開催。

メンバー手作りの
中村新聞は月1回発行



山崎さんのまわりに集まる 「okudo 中村舎」の運営メンバー

城 裕介さん



3年前にいなべに移住。市が発行した「暮らしを旅する」を見て、いなべへの移住を決意。いなべっこで見慣れない野菜を知ることが楽しみ。

佐藤 美紀さん



いなべ生まれ藤原町西野尻在住。地域のひとと外から来る人をつなぐ役割を担えればと参加。郷土料理を大切にしたいとの思いから、食のイベントを企画。

三輪 真紀さん



結婚を機に藤原町篠立に住んで13年目。雪深い地区で、地域の人々が助け合う姿を目の当たりにし、人のつながりが深いと実感。親しい人が多い！

和田 木綿子さん



2年前にいなべに移住。四季の移ろいが身近にあることに豊かさを感じる。いなべの良さを知るうちに、遠く離れた地元の良さにも気付けた。

和田 両磨さん



転勤を機にいなべに移住。今住んでいる家は山崎さんが仲介。自治会の組の役では地域のつながりを感じる。地区の草刈りもまちづくりだと思う。

隈元 寿美さん



四日市市在住。いなべの山や人が好きで、毎日いなべを訪れている。人が好きなので、okudo 中村舎を気軽に話ができる場にしていきたい。



越智さんが思ういなべの「い〜な」
モノ
いなべの山々

越智 美由紀さん



1.「日本のまんなか♡いなべ山女子フェスタ」実行委員会の仲間を通じて竜ヶ岳の登山道整備に参加 2. 整備作業の合間に休憩 3. いなべの山の魅力を伝える冊子「いなべの渋山」

登山で訪れ「ここに住みたい！」

「山が好き」が「いなべが好き」に

越智さんといなべ市の出会いは、4年前に趣味の登山で藤原岳に来たこと。当時、奈良県に住んでいた越智さんにとって、初めて訪れるいなべの地は別世界に映ったそう。麓に広がる景観、心地よく吹く風、季節の畑の様子、空の広さや静けさ。人の少なさすら魅力に感じたと話します。思わず「ここに住みたい！」と友人に伝えるほど、この地域一帯の空気に魅了されていきました。

いなべの山の魅力を伝える側に

家族の都合で、令和2年3月に奈良県から桑名市に引っ越した越智さん。いなべに惹かれ、毎週、いなべを訪れていたそう。そんな中、立ち寄ったイベントで、「日本のまんなか♡いなべ山女子フェスタ」の実行委員会に誘われ、加入することに。昨年は、いなべの山の魅力が伝わる冊子の作成に関わりしました。

越智さんは「鈴鹿山脈は関西でも人気で、登山仲間の中では藤原岳や竜ヶ岳は憧れの的なんです」と話します。SNSを利用し、登山仲間に向けていなべの山や自然の情報を発信すると反響が大きいそう。

登山で知ったいなべの魅力。いなべに通いながら、越智さんならではの発信が続いていきそうです。

いなべの山の魅力を発信

「日本のまんなか♡いなべ山女子フェスタ」実行委員会

ワークショップや交流会、登山を通していなべの山の魅力を存分に楽しむイベントの企画・運営をしています。昨年は、冊子「いなべの渋山」を発行しました。



◀平成30年に行ったイベントの様子

越智さん注目の「夢が叶う車」

モバイルヒュッテ Mobile-HÜTTE

市は、軽トラックに搭載可能な屋台ユニットを乗せて、さまざまな活用方法を検証しています。



越智さんは「いつか山登りの人向けのお店がしたいという夢があります。市のイベントで見たモバイルヒュッテは、まさに夢に描いていた移動できる屋台。夢にチャレンジできるのではと、可能性を感じます」と話します。



多田さんが思ういなべの「い〜な」
トキ
地元の祭り

多田 祐哉さん

1. 阿下喜祭好会のメンバー 2. 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、八幡祭は2年連続で中止に。阿下喜の誇りである八幡祭への想いをつなげようと地域に呼びかけ15分の映像を制作し上映 3. 祭りを楽しみにしていた子どもたちに思い出を作ろうと、昨年はイベントを開催

離れても地元と自分をつないでくれた

祭りが人とのつながりを作ってくれた

北勢町阿下喜に生まれた多田さんは、5歳から毎年欠かさず八幡祭に参加しています。「みこしを担がないと夏を感じない」と語るほど、八幡祭とともに育ちました。しかし、大学進学と就職で地元を離れることに。その間、毎年帰省して祭りへの参加を続けました。「離れていても、祭りに参加すれば仲間に会える。それが楽しみでした。祭りに参加すると、地元の人が年齢関係なく声をかけてくれる。人の輪が広がっていくことが嬉しかった」と話します。隣に誰が住んでいるかも分からなかった都会暮らしに比べ、地元での人のつながりが温かく感じるようになっていきました。「離れていても、祭りが地域と自分をつなぎとめてくれた。祭りのある地域に生まれて良かった」と語ります。

離れっぱなしはもったいない

多田さんは28歳で地元に戻りました。「地元を離れて、初めて良さに気づくことができた。だからこそ、離れっぱなしはもったいない」と語ります。

現在、地域の有志団体「阿下喜祭好会」で活動している多田さん。離れている人に地域と関わるきっかけを作れたらと思い、同会のイベントの企画や映像制作の活動にも力が入ります。

地域を盛り上げたい

あげきさいこうかい 阿下喜祭好会

北勢町阿下喜にある大西神社の祭礼「八幡祭」。その八幡祭を盛り上げようと活動する有志の団体です。今年は、地域を盛り上げようと、八幡祭の映像を制作し、大西神社で上映会をおこないました。

阿下喜祭好会の活動を通じて

松崎 茂生さん



北勢町阿下喜で美容院を営む松崎さん。お店の移転を機に10年前にいなべ市に移住しました。8年前に阿下喜祭好会に加入し、八幡祭を通じて地域の人とどっぴりとつながっていったそうです。

「祭りが途絶えたら、地域らしさが無くなってしまおう。祭りを続けるには、人口減少が問題ではなく、地域への想いが大切です。阿下喜祭好会のメンバーは20～30代が多く、地域を盛り上げようと動き出している。その若い世代のサポートをしていきたいですね」

新しい風を取り入れる土壌

立田地区

今も昔も、外からの風と地域の人が融合しながら新しい動きを見せる立田地区。
その取り組みには、わたしたちが地域の未来を考えたときのヒントが詰まっていました。

地域から子どもが消えるー 立ち上がった住民たち

藤原町篠立と古田の2つの自治会からなる立田地区。この地区では、今も昔も地区内外の人が協力して地域づくりに取り組む姿が見られます。その中心には、常に小学校の存在がありました。

立田地区は、地区にあった白石工業桑名工場が昭和51年に操業を停止したのを機に、人口減少が進みました。昭和62年には、次年度に立田小学校で複式学級が複数出来ることがわかり、住民に強い危機感が広まったそうです。

「このままでは、地域から子どもが消えてしまう」

そう危機感を感じた立田地区の人々は、全国での視察を経て、昭和63年から都市の子どもを受け入れる山村留学に取り組みました。当初は、地区の住民の家に子どものみを受け入れる「里親方式」で開始しました。

「里親だけに子育てを任せとったらあかん」

学校存続の思いを共有していた住民たちは、川下り、

登山、スキーなど多くの行事を開催し、積極的に子どもたちに関わっていきました。子どもとの関係を通して、地域の住民が協力し合うようになりました。

地域を維持するには、若い世代が移住して、住民とともに地域づくりを進める必要があると考え、平成3年からは家族で移住し通学する「家族留学」を始めました。上下水道完備や山村留学専用住居の造成などを行い、「義理ごと」と呼ばれる地区で続く古い慣習を廃止し、若い世代が転居しやすい環境を整えました。

立田地区では、地域に住む人が生き生きと暮らせるようにと、多くのボランティア団体が作られました。親子で自然体験をする「土曜学校」や、地区の環境整備や秋祭りを運営する「青壮年部」などがあります。移住してきた若い世代が積極的にこれらの活動に参加する姿が見られ、それが地域住民にとって良い刺激になり、立田地区特有の活発な地域づくりにつながりました。



元藤原町教育長
三輪 了啓さん

interview 長年、地域のコーディネーターの役割を担う

心の豊かさと地域づくりはつながっている

これからの時代は、学力や財力ではない、心の豊かさが重要となるでしょう。心の豊かさを感じるには、やる気や好奇心などの非認知能力が大きく影響します。私は退職の翌年に自治会長をしたことがきっかけで、地域と深く関わるようになりました。好奇心を持って地域を知ると、人とのつながりが出来る。地域の人とのつながりが広がると、絆が生まれ、心が豊かになる。心の豊かさと地域づくりはつながっていることを実感しました。

いろんな人と協力できる力も非認知能力と言えます。外から来た若い世代が「秀真楽市」というイベントを企画したのをみて、同世代に声を掛け一緒に参加しました。グローバル化が進む今、この力がますます重要に。新しい文化の芽生えを楽しみながら、協力していきたいです。

外から来た人が地域を光らせてくれる。地域の人々がそれを支える。そして、両者をつなぐコーディネーター役が地域には必要不可欠と考えています。



京都産業大学
現代社会学部教授
耳野 健二さん

interview 大学 × 地域

地域の未来をともに作る

平成26年に京都産業大学といなべ市で地域の活性化とその人材育成のための連携協力に関する包括協定を締結して以来、本学生と立田地区との間で交流を続けてきました。これまで、地区の歴史をもとに、紙芝居や絵本、動画の作成をしてきました。

立田地区を訪れると「外に開かれている」と感じます。三輪了啓さんや、山村留学導入に尽力した高橋賢次さんなど地域のリーダーが、学生を積極的に受け入

れ、学びの後押しをしてくれます。地域で子どもを育てようという意識が住民に根付き、文化的な蓄積が外の人の柔軟な受け入れにつながっていると考えます。

本学生は、まさに立田地区の関係人口。学生からは「地域の歴史を知ることが自分の学びになった」という声があり、地域に行く側にとっても得るものが多いと感じています。



▲学生の発案で3月にモニュメントを設置



1. 空き教室を利用したヨガ教室の様子 2. 地域の人たちの手で作るイベント「秀真楽市」。今年の夏に開催した時の様子 3. 立田地区に住む人が自分の趣味をいかして出店

廃校した小学校跡地を地域内外の拠点にと動き出す

藤原町の5つの小学校が統合されることになり、立田小学校は平成29年3月に閉校しました。閉校を機に29年続いた山村留学も終了。しかし、立田地区の人々は、地域づくりの歩みを止めませんでした。

「なんとか学校を残せやんのやろか」

地域から聞こえてくるこうした声をもとに、地区の人々は廃校になった校舎の活用動き出します。立田地区活性化協議会を作り、議論を重ね、校舎を地区内外を問わず人と人の交流の場にしようと決めました。

今年度からは、健康・娯楽・福祉の場として空き教室の活用を始め、ヨガ教室や将棋などを行う場として

広がる小学校跡地利用

ほつま

秀真の里 ところわか

ヨガや元氣ダンスなど5種類の教室を開催しています。いつまでも健康にとの願いをこめて「ところわか」と命名。今年1月から、地域おこし協力隊の土肥仁那さんが地区と連携しながら運営に協力。

色んな人と関わって
ふれあいの場になれば



土肥 仁那さん

秀真楽市



食べ物、飲み物、手作り雑貨、趣味をいかした体験ブースなど内容も盛りだくさんのイベント。出店者は立田地区の住民。その半数を5年以内に移住した人が占めます。元地域おこし協力隊の加藤潤一さんが主催。



加藤 潤一さん

子どもたちが主体的に
開くお店もあります！



(左から)森 那菜さん、河瀬 絢名さん、伊藤 鈴さん、二宮 凪央華さん、水谷 瑠夏さん、川瀬 諒子さん、日沖 蒼生さん



阿下喜駅にイルミネーションを取り付けるボランティア活動に参加。チームで協力する大切さを知りました(森さん)、これからも地域に貢献したい(河瀬さん)、市内が楽しいと、外から人がたくさん来るのでは(二宮さん)、やってみて良かったです(水谷さん)、地域の人に「いいね」と声を掛けてもらえた(川瀬さん)、いなべは人と人の距離が近くて良い！(日沖さん)



地元立田の思い入れのある場所をツリーイングに活用すると知り、何か手伝えればと思いスタッフに参加。こうして地域内外からたくさんの人が来てくれるのを見ると、この地が誇らしく思えます。



外からやってくる人に対して、斜に構えていたら地域は消えます。この地を好んで来てくれた人と、一緒に地域をつくっていけたら生き生きとした地域になる。今こそ地域の未来を考えるときです。



受け継がれてきた地域という土台に、外からの人が新しい風を持ち込む。うまく響き合って、やがてその地の風土になっていくのでは。



楽しみながら地域で暮らしていきたいですね。



地域の人の手で、地域の場を作り上げている立田の風景をぜひ見てほしい。



立田にやって来る人に対して、「よそ者」という考えはありません。地域に関わる姿に、区別はありません。



地域の先人の取り組みを引き継いでいきたいという大きな思いがあります。

市の取り組み

高校生と一緒に未来を考えたり、自由な発想で未来を描いたり、市で行われている地域の未来を考える取り組みを紹介します。

INA-CON 高校 × 地域

平成 28 年度から毎年実施している、いなべ総合学園高等学校の生徒が参加して、まちづくりのアイデアを出すコンテストです。3 月には、阿下喜駅に生徒が提案したイルミネーションを設置しました。設置のボランティアに参加した伊藤鈴さんは「まちづくりに携われて嬉しかったです」と話します。



妄想会議 妄想 × 地域

市でしてみたいことや理想のまちの姿などを自由に話し合う場として、昨年 12 月に第 1 回が開催されました。参加に住所要件はなく、いなべ市が好きな人が参加しました。市内外からの出席者により新たな発想が提案されました。



人は減るけれど、未来は明るい？

人口はこれからも減少が続きます。地域づくりを進めるうえで、関係人口などの多様な形で地域に関わる存在は、ますます欠かせないものになるでしょう。地域にその存在を受け入れる土壌があるか、ないか。ともに地域づくりに取り組めることができるか。人口減少が進む今、地域のあり方が問われているのです。

取材の最後に三輪了啓さんが「立田地区も人は減っています」と切り出しました。「でも、ここの人たちならきっと大丈夫。未来は明るい。私はそう確信しています」と力強く語ってくれました。

立田地区から感じる、多様な人を受け入れる土壌と主体性。そこには、目指すべき地域の未来がみえるようです。

もうそうミーティング 妄想会議

一緒に地域の未来を妄想しませんか？

日時 令和 4 年 1 月 29 日(土)
10:00 ~ 11:30
場所 シビックコア 2 階
対象 いなべ市民、いなべ市が好きな人
※年齢不問、キッズスペース有り
定員 20 人程度
申込方法 申し込みフォームまたは電話、
メールにて申し込み

☎ GCI ☎ 72-7705
✉ info@inabe-gci.jp





軽便鉄道博物館（北勢町 阿下喜駅）

まちで起こった出来事や気になるあの人を紹介します

20 年以上つながる熱い思い

圧巻のパフォーマンス

10 月 23 日（土）、大安中学校で 466 人の生徒による「全校木太鼓演奏」がありました。全校生徒の心をひとつにしたいとの思いで始められた、1998 年の体育祭から続く伝統行事です。木太鼓には、市内で伐採後に不要になった木材が使われています。今年は体育祭が中止となり、授業参観を兼ねた土曜授業の場で、3 曲計 30 分ほどの演奏を披露しました。

太鼓委員副団長の齋田樹莉愛さんは「たたく人も見る人も楽しめる演奏を届けたい」と演奏前に気持ちを高めていました。



1. 青空の下、太鼓の音が響く 2.3. 3 年生にとっては最後の演奏。握るばちに力がこもる



3 曲目の「大団円」では、ラスト 1 分、全体が 1 つになり、迫力ある太鼓の音でしめくりました。

演奏後、団長の佐藤敏也さんは「これからも感動を受け継いでいってほしい」と話しました。

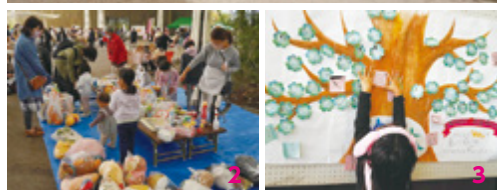
親子でハロウィンを楽しもう

いなこねマルシェ

10 月 31 日（日）、市役所玄関前広場で「いなこねマルシェ with さくらんぼ」が開催されました。この催しは、子育てに取り組む人の夢を応援するために活動している「いなこね」が主催したものです。ブースには母親が特技をいかして作った作品や、市内で活動する団体の作品が並び、およそ 3,500 人が訪れました。

今年は、保護者を中心にみんなの夢を書いてもらう「ゆめのき」を設置。「怒らないようにする」など子育ての目標や、「英語を身につけたい」といった目標が見られました。

1.2. 多くの人でにぎわう会場 3. 「ゆめのき」はみんなの願いで彩られました



山郷保育園で防災訓練

消防車がきた！

10 月 26 日（火）に、山郷保育園で防災訓練があり、消防車が園庭に訪れました。いなべ消防署職員の指導の下で、避難訓練や消火訓練を行った後、園児たちは消防車の前で記念撮影。普段、周近で見ることの少ない車両や道具を前に、「何人乗れるの？」「これは何に使うの？」など、職員にたくさん質問をしていました。

1. 水消火器で消火訓練を行う保育士。背中から「先生がんばれ～」の声援が 2.3. 見慣れない機器に興味津々 4. 消防車の前でハイ、チーズ



薬を正しく使おう

お薬教室

10 月 14 日（木）、員弁西小学校で 6 年生の児童が、薬の正しい使い方や、タバコ、酒、違法薬物が体に与える悪影響について学びました。薬は水で飲むようにすすめられますが、お茶で飲むとどうなるかという実験で、児童は「水で飲むことが正しいとわかりました。家族にも知ってもらいたい」と感想を話しました。

講師を務めたふじわら調剤薬局薬剤師の安藤悠さんは、違法薬物について「たった 1 度の使用でも、体の機能が元に戻ることはありません。絶対に手を出さないで」と伝えていました。



薬にお茶をまぜると色が変わった！子どもたちは興味津々

シニアもスマートフォンを使ってみよう

スマホセンター開講

10 月 22 日（金）に、いなべ暮らしの保健室藤原分室で、高齢者向けのスマートフォン教室が開かれました。この教室は、店舗から遠い地域に住んでいる高齢者に向けて、いなべ暮らしの保健室とドコモショップいなべ店が連携して、月に 1 回開催されています。受講者は、スマートフォンを操作し、明日の天気や飲食店の検索など、普段の生活に役立つ機能を学びました。

「最初は抵抗があったが、実際に触ると楽しい。これを機にスマートフォンを購入したい」と参加者は感想を述べていました。

日時 毎月第 4 金曜日 10:00 ～ 11:30 / 13:00 ～ 14:30（2 部制）
問い合わせ先 いなべ暮らしの保健室 090-1789-0904



1.2. 初めての端末に戸惑いながらも、段々と操作に慣れていく受講者

中学女子日本一！

11月15日（月）、全国大会での優勝報告のため市内在住の中学生が市長を訪れました。選手たちは津市を拠点に活動する三重高虎ガールズに所属。全国39チームが参加する「第6回全日本中学女子軟式野球大会（10月9日（土）～12日（火）石川県）」に出場。

準々決勝では延長戦に入り、一時は相手チームに1点リードされます。その後、チーム一丸となり逆転勝利を収め、優勝を引き寄せました。

齋藤さんは大会を振り返り「最後の大会で、目標にしてきた全国制覇を成し遂げることが出来て良かった」と話しました。



「三重高虎ガールズ」は発足7年目の中学女子軟式野球チーム。
選手左から順に
【北勢中学校】3年 伊藤真菜（外野手）
【大安中学校】3年 齋田樹莉愛（捕手）
齋藤佑衣（投手）
大山友愛（内野手）
2年 小林愛（投手）

藤波さん世界を制す

10月にノルウェーで行われたレスリングの世界選手権で、いなべ総合学園高等学校3年生の藤波朱理さんが金メダルを獲得しました。持ち前の積極的に攻撃を仕掛けていくスタイルを崩すことなく、4試合すべて無失点でテクニカルフォール勝ち。世界の強豪選手を相手に力の差を見せつけました。

藤波さんは「国内に世界トップレベルの選手が多い。パリオリンピックを見据えつつ、1つ1つの試合に勝利していきたい」と話していました。



部活での練習の様子

防火ポスター入賞者

桑名市消防本部が、管内の小中学校の児童生徒から防火ポスターの募集を行ったところ、各学校で選ばれた作品313点の応募がありました。審査の結果、86点が入賞し、その表彰式が10月27日（水）に、員弁コミュニティプラザで行われ、市内では次の皆さんが特別賞を受賞されました。最優秀作品を受賞した松宮羽美さんの作品は、「令和3年度街頭啓発用ポスター」として、地域住民への火災予防啓発に活用されます。



加藤 紗也奈



松宮 羽美

●**小学校の部** ※この他8人が優秀賞に入選しました。

市長賞	加藤 紗也奈（笠間小学校5年）
防火協会長賞	二之湯 希空（員弁西小学校5年）
消防長賞	川瀬 陽大（十社小学校5年）

●**中学校の部** ※この他5人が優秀賞に入選しました。

市長賞	松宮 羽美（北勢中学校3年）
防火協会長賞	渡邊 颯斗（員弁中学校1年）
消防長賞	滝本 啓雅（北勢中学校2年）

ポスター・標語入賞者

今年度もたくさんの応募があり、ポスター486点、標語712点の作品が集まりました。選考の結果、次の皆さんが入賞されました。（敬称略・順不同）

ポスター入賞者

最優秀賞



伊藤 心咲（員弁中学校2年）



一木 桂花（員弁西小学校6年）



落合 星桜（藤原小学校4年）

優秀賞

安藤 伊織（北勢中学校2年）
堀之内 麗愛来（阿下喜小学校6年）
安藤 穂香（十社小学校6年）

鈴木 このは（治田小学校6年）
篠木 里桜（員弁東小学校6年）
種村 菫夏（員弁東小学校6年）

仲 里央渚（笠間小学校6年）
日置 千安璃（三里小学校6年）
出口 慶（三里小学校6年）

入選

井畑 薫子（北勢中学校2年）
石田 茉那（員弁中学校2年）
多湖 耀音（員弁中学校2年）
安藤 結菜（阿下喜小学校6年）
荒木 結芽（山郷小学校6年）
佐藤 美香（山郷小学校6年）
日比野 由衣花（山郷小学校6年）

川瀬 翠衣（十社小学校6年）
羽場 咲希（治田小学校6年）
茂村 美咲（員弁西小学校6年）
松本 秀斗（員弁西小学校6年）
吉澤 亜美（員弁西小学校6年）
清水 愛惟（員弁東小学校6年）
渡辺 梨里亜（笠間小学校6年）

中谷 佑衣（三里小学校6年）
岩花 果蓮（石榑小学校6年）
金原 優那（石榑小学校6年）
小林 美沙希（石榑小学校6年）
山田 優香（石榑小学校6年）
伊藤 珠理（丹生川小学校6年）
伊藤 蓮奈（丹生川小学校6年）

標語入賞者

最優秀賞 ＜命より大切なものはありますか？命の重み大切に＞ 伊藤 諒羽（員弁中学校1年）

優秀賞 ＜身知らぬ命と身近な命、命の重さは変わらない＞ 水谷 海斗（員弁中学校2年）
＜おもいやり 求めるより まず自分から＞ 中村 朝陽（藤原中学校2年）

入選

三輪 きよ子（一般）
田中 佳南子（一般）
長尾 慶孝（員弁中学校3年）
伊藤 凜奈（藤原中学校3年）

大木 昊（員弁中学校2年）
美濃 絆空（石榑小学校1年）
小谷 美月（石榑小学校4年）
大矢 美羽（藤原中学校1年）

丹羽 駿斗（藤原中学校1年）
藤田 柚芭（北勢中学校2年）

PICK UP!

ピックアップのコーナー

『ピックアップ』はたくさんの情報の中から特にお伝えしたい大切なものを取り上げてお知らせするコーナーです。

いなべ市民表彰受章者

☎ 広報秘書課 ☎ 86-7740
☎ 社会福祉協議会 総務課 ☎ 41-2942



10月23日（土）に開催した市民表彰式で、市政の発展、産業の振興、福祉の増進などに多大な功績を挙げられた人や団体を表彰しました。（敬称略）

市長表彰

- ◆地方自治の発展 伊藤 征記
- ◆社会福祉の向上 いなべおもちゃ病院、三輪 恵美子、水谷 貞雄、小川 昭巳、児玉 正光
- ◆学校教育の発展 山下 秀人
- ◆環境保全の推進 水元 宗義
- ◆自主防災の普及啓発 坂本自治会自主防災隊
- ◆市民活動の向上 二川 邦代、山本 はるよ
- ◆地域の発展 水谷 政美、田中 敏夫、片山 純子、坂本曳山実行委員会、丹生川中桜川クラブ



社会福祉協議会会長表彰

- ◆在宅介護 佐藤 和代、三輪 和子、坂口 国親
- ◆老人クラブ連合会 藤田 重輝、小寺 一弘、森川 照代、平賀 雅博、山本 はるよ、東松 晃子、渡邊 悦子
- ◆身体障がい者福祉会 渡邊 順子
- ◆母子寡婦福祉会 吉住 恵美子、多湖 志な子
- ◆ボランティア あ〜ちゃんので



119番通報の不通について

☎ 桑名市消防本部総務課
☎ 24-5274

電話工事のため、119番通報が繋がりません

12月17日（金）
0：00～3：00 のうち 約 3 分間

連絡が必要な人は、次のいずれかに電話してください。

- ☎ 080-2600-6457
- ☎ 080-2600-6458

費用無料

認知症高齢者等 SOS ネットワーク

☎ 長寿福祉課 ☎ 86-7819

認知症高齢者等 SOS ネットワークとは、認知症などが原因で外出後に帰宅できなくなるおそれがある人と、その家族を支援するための仕組みです。身元情報を事前に市に登録し、登録者が行方不明になった際の捜索に役立えます。

登録すると、QRコードワッペンが配布されるほか、個人賠償責任保険へ加入することができます。どちらも費用は無料ですので、気軽に問い合わせてください。

スマートフォン画面（イメージ）

QRコードワッペンの配布

市の連絡先などを登録した QR コードが印字されたワッペンを配布します。登録者 1 人につき 10 枚配布し、衣服や持ち物などに貼って使っていただきます。

道に迷っている登録者に気付いた人が、QR コードを読み取り、ワッペンに付記された登録番号を連絡先に伝えていただきます。連絡を受けた担当者は、登録番号から本人を特定し、家族などに連絡して早期解決につなげます。



QRコードワッペン見本



洋服や持ち物に貼り付ける

- ◆三重県いなべ市 SOS ネットワーク
身元が分からないときは最寄りの警察署か下記に連絡をお願いします。
記
- ◆平日 8 時 30 分～17 時 15 分
いなべ市地域包括支援センター
0594-86-7818
いなべ市長寿福祉課
0594-86-7819
- ◆夜間土日祝日
いなべ市警備直
0594-86-7850

個人賠償責任保険への加入

- 加入対象者 登録者のうち、いなべ市の住民基本台帳に記録され、在宅で生活する人
- 保険内容 日常生活における偶発の事故によって、他人にけがをさせたり、他人の物を壊したりして法律上の損害賠償責任を負う場合に備えた保険です。誤って線路に侵入し、電車を止めた場合に請求される振替輸送費用も補償対象です。市が保険契約者として加入し、保険料全額を市が負担します。

令和 3 年分所得税の確定申告会場

☎ 桑名税務署 ☎ 22-5123

桑名市会場

《確定申告会場が変更になります》

桑名税務署（桑名市江場 7-6）

- ※会場の混雑緩和のため、会場への入場には「入場整理券」が必要となります。
- 配布方法などは、後日、広報誌、国税庁ホームページで告知します。
- ※会場の駐車スペースに限りがあるため、公共交通機関を利用してください。

いなべ市会場

《今年度から予約制とします》

市役所シビックコア棟（北勢町阿下喜 31）

※予約方法は、次号で告知します。



くらしの情報

催し

屋根のない学校
1月の教室



【昆虫と遊ぼう】

虫たちのベッドルームにお邪魔虫

●日時 1月8日(土)

9:00～11:00

●講師 大山義雄さん

【人びとのいのちとくらしを守る植物】

春の七草

●日時 1月8日(土)

13:30～15:30

●講師 葛山博次さん

＜共通事項＞

●対象者 小学生（保護者の同伴が必要）

●場所 屋根のない学校（藤原町坂本2065「簡易パーキングふじわら」の隣）

●申込方法 はがきまたはFAXで「住所」「氏名(ふりがな)」「学校名」「学年」「電話番号」を記入して申込先へ。

☎ 申込先 自然学習室

（〒511-0511 藤原町市場493-1 藤原文化センター内）

T 46-8488 F 46-4312

藤原岳自然科学館

【冬の自然観察】

藤原岳山麓を散策し、動物の足跡やフン、生き物の冬越しの様子などを観察します。

●日時 1月22日(土)

9:30～12:00

●場所 藤原文化センター、藤原岳山麓

●講師 川根有機さん

●定員 40人

●申込期限 1月15日(土)

●対象者 どなたでも参加できます。（小学生以下は保護者の同伴が必要）

※先着順で受け付けていますが、すでに定員に達している場合があります。事前に問い合わせください。

●参加費 小学生以上1人100円

●持ち物 筆記用具・参加費・返信はがき

※詳細は参加者に連絡

●その他 観察コースは天候などにより変更することがあります。当日雨天の場合は屋内での学習に変更します。当日朝6時の段階で三重県北部に暴風警報が発令されている場合は中止とします。

●申込方法 往復はがきまたはFAXで「開催日・希望教室名」「参加者全員の氏名・学校名・学年・人数」「住所」「電話番号」を記入して申込先へ。直接窓口でも受け付けます。

☎ 申込先 藤原岳自然科学館
（〒511-0511 藤原町市場493-1 藤原文化センター内）

T 46-8488 F 46-4312

いなべ 市民大学講座 vol.2

第5回「広がる可能性と夢の実現
～みんなに必要な働き方～」

●日時 1月22日(土)

13:30～15:00

●講師 中村朱美さん（株式会社minitts 代表取締役）

第6回「シングルエイジ期の習慣が
子どものその後を左右する
～親が子どもに寄り添える
のは9歳まで～」

●日時 1月29日(土)

13:30～15:00

●講師 鈴木満智代さん
（教育アドバイザー）

第7回「地域おこし×大道芸×廃校
活用」

●日時 2月5日(土)

13:30～15:00

●講師 近藤匡さん（いなべ市地域
おこし協力隊員）

第8回「おもしろいほど体の調子
が良くなる『4つの生活習慣』

●日時 2月26日(土)

13:30～15:00

●講師 大滝さやかさん
（美と健康アドバイザー）

＜共通事項＞

●対象 小学4年生以上（小学生は保護者同伴）

●定員 各講座50人（先着順）

●場所 員弁コミュニティプラザ

●参加費 1講座500円（中学生以下無料）

●申込開始 12月13日(月)

●申込方法 芸術文化協会窓口、電話、郵送、FAX、ホームページ、Eメール

●その他 受講の際は、不織布マスクの着用をお願いします。

☎ 申込先 (一社) いなべ市芸術文化協会
T 82-1551 F 82-1561
E jimukyoku@inabe-bunka.com

認知症のひとと家族の 「おれん家」カフェ

香りによるリラックス効果で、見た目も可愛い「モイストポプリ」作り。

●日時 12月19日(日) 10:00

～12:00（受け付け9:30～）

●場所 えんむすび(藤原町本郷836)

●参加費 700円（カフェ代、材料代、傷害保険代）

●申込期限 12月14日(火)

☎ 申込先 NPO 法人快生教学会

T 37-7062 F 37-5088

Full Brass Five × 東員アンサンブルオーケストラ 新春コンサート

金管アンサンブルコンサート

●日時 1月16日(日)

14:00（開場13:30）

●場所 北勢市民会館さくらホール

●入場料 500円(税込・自由席)

※未就学児の入場はご遠慮ください。

《チケット取り扱い》

○芸術文化協会(北勢市民会館内)
平日9:00～17:00

○チケットぴあ
セブンイレブン
(Pコード:207-437)

☎ (一社)いなべ市芸術文化協会
T 82-1551

相談

行政相談
(無料、秘密厳守)

【12・1月の相談】

●日程、場所

12月16日(木)藤原文化センター

1月13日(木)員弁老人福祉センター

1月27日(木)シビックコア

●時間 13:00～16:00

【行政苦情110番】

T 0570-090-110

※平日8:30～17:15

土日祝、時間外は留守番電話で対応。

☎ 総務省三重行政監視行政相談センター
T 059-227-6661



めざせ いなべ通

いなべ
検定入門
180

〳〵歴史でひもとく〳〵

いなべ市旧16カ村

1

執筆:ふるさといなべ市の語り部の会

笠田村(員弁町)

笠田村は市之原、上笠田、下笠田、宇野、笠田新田、坂東新田が明治22年に合併してできました。

この地域には古くから人々が住み着いていたようで、律令制の時代には伊勢国員弁郡摩郷と呼ばれていました。小さなため池にたよった米作りで、用水の確保にずっと苦勞をしてきました。

鎌倉時代の伊勢神宮神鳳鈔に、笠田御厨、上笠田御厨、下笠田御厨、宇野御厨の名があります。

室町時代には北勢48家と呼ばれる城主の支配地となり、上笠田城は飯田氏、下笠田城は多湖氏、宇野城は後藤氏が治めました。江戸時代には桑名藩の命により六把野井水が作られ、さらに笠田大溜の大改修、笠田新田と坂東新田の開発、昭和になって員弁大池が完成しました。用水の安定した供給こそ、この地域の人々の夢であり、発展の要でした。



大溜の水争いで亡くなった「文二の墓」
員弁町宇野(員弁警察署北側)

☎ ふるさといなべ市の語り部の会
伊藤忠 T 090-3583-2827

人権相談 (無料、秘密厳守、予約不要)

【1月の相談】

●日程、場所

1月26日(水)北勢福祉センター

●時間 13:00～16:00

☎ 人権福祉課 **T** 86-7815

ふくし総合相談窓口 (無料、秘密厳守、予約不要)

どこに相談していいかわからない、複数の悩み事があって困っているなど、気軽に相談してください。

☎ いなべ市地域包括支援センター **T** 86-7818

その他

福祉バス 運行確認について

安全運行のため、暴風警報発令時や震度5弱以上の地震発生時は、運休します。また、大雨警報や洪水警報時など、状況により運休する場合があります。

【運休時のお知らせ】

○市ホームページ

○いなべ市生活情報「まいめる(生活

安全情報)」でのお知らせ

※事前登録が必要



○CTYチャンネルでのデータ放送
○いなべFMの生放送番組内での
お知らせ

【福祉バス利用時のお願い】

＜バス停では＞

・物陰や離れた場所でバスを待たずに、時刻の少し前から運転手が分かりやすいようにバス停でお待ちください。

＜車内では＞

- ・マスクの着用と、他の乗客と離れた席での着席をお願いします。
- ・走行中は揺れたり、やむをえず急ブレーキをかける場合がありますので注意してください。
- ・シートベルトを着用し、席から立たないでください。
- ・車内での喫煙、飲食は遠慮してください。

＜降車時は＞

- ・バス停近くになりましたら、運転手に降車の意思を伝えるか、近くのチャイムで知らせてください。
- ・バス停に到着しバスが完全に停車してから降りてください。

☎ 【北勢・藤原・市役所ルート】福祉バス管理室 **T** 72-3563

【員弁・大安ルート】三岐鉄道株式会社いなべ営業所 **T** 78-3318

期限内納付のお願い

＜12月の納付＞

○固定資産税 第3期

○国民健康保険税 第6期

○後期高齢者医療保険料 第6期

○介護保険料 第5期

●納期限(口座振替日)

12月27日(月)

【口座振替の人へ】

○前日までに振替口座へ納付額を準備してください。

○残高不足などで口座振替日に振替ができなかった場合は、**1月19日(水)に口座<再>振替を行います。(後期高齢者医療保険料および介護保険料を除く)**

【現金納付(納付書)の人へ】

○取り扱いコンビニエンスストア、指定金融機関、各担当課窓口などで納付できます。

○スマートフォン決済アプリを利用した電子決済が可能です。納付書のバーコードを読み取って支払処理をしてください。領収証書は発

行されませんので、納付状況はスマートフォン決済アプリで確認してください。対応可能なアプリはPayPay、LINE Pay(請求書支払い)、PayB(「Powered by PayB」など「PayB」表記のあるアプリを含む)です。

※納付には便利な口座振替制度を利用してください。申し込みは近くの指定金融機関などで！

☎ 納税課 **T** 86-7793

☎ 保険年金課 **T** 86-7811

☎ 介護保険課 **T** 86-7820

県税の納付も忘れずに

税の公平性と税収を保つため、県税を納期限までに納めてください。

三重県では、滞納者に対しては、差し押さえを行っています。病気や災害などで、一時的に納めることが

困難な場合は、県税事務所へ相談してください。

☎ 三重県桑名県税事務所 納税課 **T** 24-3612

防災ラジオ 試験放送

【1月の試験放送】

●日時 1月13日(木) 10:00～

☎ 防災課 **T** 86-7746

最低賃金が改定に

三重県最低賃金は、10月1日から、28円引き上げられ、時間額902円になりました。なお、特定の産業に該当する事業所で働く労働者には、特定(産業別)最低賃金が適用されます。

また、要件が緩和や拡充された中

小企業支援のための業務改善助成金制度などの支援策がありますので、ぜひ活用してください。

☎ 三重労働局賃金室

T 059-226-2108

マイナンバーカード 休日窓口(完全予約制)

平日の受け取りが困難な人のために休日窓口を開設しています。

●日時 12月26日(日)

9:00～12:00

(20分毎で予約受け付け)

●場所 市民課

●取り扱い業務

- ・マイナンバーカードの受け取り
- ・マイナンバーカード用写真の無料撮影
- ・申請手続きのサポート

●予約方法 12月24日(金)までに電話で予約

☎ 市民課 **T** 86-7810

いなべの保健室 No.17

年末年始は餅による窒息に注意！



お正月と言えば餅です。餅は日本の文化として親しまれ、餅つきには「子孫繁栄」の意味が込められています。しかし、毎年、餅による窒息事故が後を絶ちません。消費者庁の報告によると、食物による窒息事故が2020年は3,500人以上と報告され、そのうち約70%が80歳以上です。餅が原因の事故は、2018年に363人、2019年に298人で、発生時期の約半数が1月、特に正月三が日に発生していると報告されています。また、男性は女性に比べ2.6倍割合が多くなっています。

餅による窒息を予防する秘訣は、口内の健康を保つこと、そして餅を小さく切って食べることです。楽しい正月を迎えるために、十分気を付けてくださいね。

☎ いなべ暮らしの保健室

(NPO法人スプリング)

T 090-1789-0904



BOOK NOW

オススメ情報満載 図書館通信

いなべ市図書館
キャラクター
いなピョン
「わくわく楽しみクリスマス」



●おはなしボランティア募集



図書館で開催する「おはなし会」の読み手を募集中です。子どもたちと一緒に絵本を楽しんでみませんか。大人になってから読む絵本や、人に聞かせる読み聞かせは、きっと今までとは違った楽しみがありますよ。気軽に図書館へ問い合わせてください。

12・1月の休館日 全館…毎週月・火／特別休館日 12月29日(水)～1月5日(水)

☎ 北勢図書館 **T** 72-2200 (開館時間／9:00～17:00)
大安図書館 **T** 87-0021 (開館時間／9:30～17:30)

員弁図書館 **T** 74-5077 (開館時間／9:00～17:00)
藤原図書館 **T** 46-4150 (開館時間／9:00～17:00)

●市内図書館おはなし会

【北勢図書館】毎月第3日曜日 10:30～
読み手／図書館職員

【員弁図書館】毎月第1日曜日 10:30～
読み手／大安町おはなしの会くまのこ、
図書館職員

【大安図書館】毎週土曜日 14:00～
読み手／大安町おはなしの会くまのこ

【藤原図書館】毎週土曜日(第5なし) 10:30～
読み手／藤原おはなし会「こだま」、
よみかせたんぱの会

福祉医療費助成を受けた人へ

「福祉医療費助成金交付決定通知書」を12月下旬に送付します。

この通知書には、「診療年月」「支給年月」「医療機関名」「助成金額」が記載されています。

令和3年1～12月までにすでに助成した分です。これから助成するものではないので注意してください。

問 保険年金課 **T** 86-7811

してください。郵送を希望する場合は納税課へ連絡してください。

問 納税課 **T** 86-7793

家具類転倒防止対策事業

地震発生時に家具類の転倒事故を軽減するために、高齢者、障がい者などの寝室や居間の家具類に転倒防止金具を無料で取り付ける防災対策支援を実施しています。

- 1世帯につき3点まで
- 対象世帯の条件(いずれかに該当)
 - ・75歳以上の人のみで構成
 - ・要介護認定3以上の人がいる
 - ・身体障害者手帳1級または2級に該当する人がいる
 - ・療育手帳Aに該当する人がいる
 - ・精神障害者保健福祉手帳1級に該当する人がいる

● 申込方法 申込先へ電話
問 申込先 防災課 **T** 86-7746

土地・家屋などの登記名義を変更した人へ

令和3年中に新しく登記名義人になった人に対して、令和4年度からの固定資産税を課税します。相続や共有者の変更などにより、登記名義を変更した場合は、改めて口座振替依頼書の提出が必要です。

口座振替依頼書は市内の指定金融機関などの支店窓口や納税課で取得

編集後記

立田地区で取れた柿を食べたら、取材で出会った人たちの顔が浮かび、思わず「いなべって、ええなあ」とこぼれました。Linkを手にした人が「いなべって、ええところやなあ」と思わず口にするような、そんな誌面を作って届けていきたいです。(清)

年賀状を書かなくなって数年。1年に一度きり、友から届く1枚が。今年は何を伝えようか(小)年会もいいですが、まずはコロナ禍で無期限中止になっている私の歓迎会をしてほしい(日)んずを通して見える世界は限られます。その周りの世界まで見える写真を心掛けたいです(伊)

【お知らせ】来月号から、発行する月に合わせた「月号」の表記に変更します。



PARENTING INFORMATION

健康推進課86-7824

子育てインフォメーション

【育児相談】

日・対象者 1月5日(水) 北勢町在住
1月12日(水) 藤原町在住
1月19日(水) 大安町在住
1月26日(水) 員弁町在住

受付時間 9:30～11:00

場所 保健センター(北勢町阿下喜31)

持ち物 母子健康手帳、バスタオル

*どなたでも参加できます。身体計測のみでも可。オンライン相談も行っています。

【ぶれ mama セミナー(妊婦教室)】

日 程 1月28日(金)
時 間 13:00～15:00(受け付け12:50～)
場 所 はっぴい・はあと(大安町石樽南335)
持ち物 母子健康手帳

内 容 妊娠期を楽しむために(スタイ作り・交流)

※託児が必要な人は相談してください。

電話で予約してください。

緊急事態宣言・まん延防止措置発令中は、オンラインで実施します。

日時(受付時間)

対 象 者

対象者には個別通知します

【1歳6か月児健康診査】1月13日(木) 13:15～14:15 R2.6.10～7.4生 および前回欠席者

【2歳児歯科教室】1月20日(木) 9:15～9:30 R1.12月、R2.1月生

【3歳6か月児健康診査】1月6日(木) 13:15～14:15 H30.5.19～6.14生 および前回欠席者

場所
保健センター

緊急相談

みえ子ども医療ダイヤル 問 #8000
《毎日》19:30～翌朝8:00

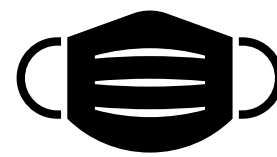
緊急診療

桑名市応急診療所 問 21-9916
《日祝》9:30～12:00 / 13:00～16:00 《土》19:30～21:30

感染 新型コロナワクチン接種後でも…するリスクあり！

ワクチンの効果は感染を100%防ぐものではありません。体内で抗体がつくられる量は個人差があり、接種から時間が経過すると抗体量が減少します。

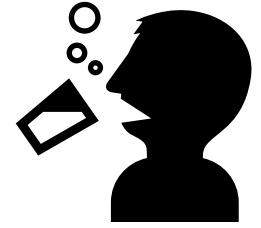
もう一度、感染対策を確認しましょう



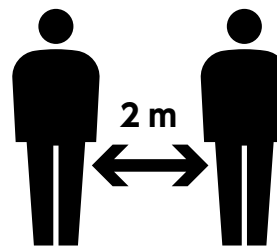
マスクの着用



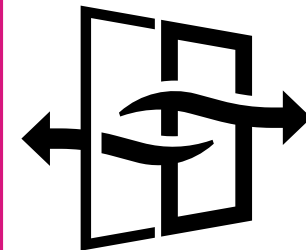
手洗いの徹底



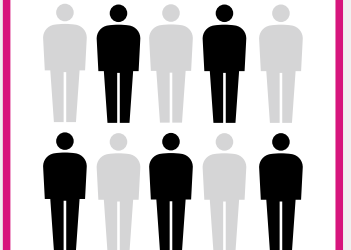
帰宅後のうがい



間隔をあける



窓を2カ所以上開ける



集会の人数を制限

- ・手指は、せっけんで洗い、水で十分に流した後、清潔なタオルやペーパータオルでよくふき取って乾かします。
- ・マスクは、布やウレタンよりも不織布の方が効果が高いことが示されています。(下図参照) 隙間のないように顔にフィットさせ、身につけましょう。

■ マスクやフェイスシールドの効果 出典：豊橋技術科学大学、全音楽譜出版社(2020.10.15発表資料)

	対策なし	不織布マスク	布マスク	ウレタンマスク	フェイスシールド	マウスシールド
吐き出し飛沫量	100%	20%	18-34%	50%	80%	90%
吸い込み飛沫量	100%	30%	55-65%	60-70%	小さな飛沫に対しては効果なし	



新型コロナワクチンの追加接種(3回目)について

追加接種は、2回目接種完了からおおむね8カ月以上経過した人を対象として、順次、実施する予定です。最も接種時期が早かった医療従事者などは、今月から接種が始まります。高齢者などについては、次号でお知らせします。

年末年始の業務



ごみ

施設名	地区	12月			1月						
		29日	30日	31日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
あじさいクリーンセンター	市内全域	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)
員弁リサイクルセンター	員弁										
北勢・大安・藤原粗大ごみ場	北勢・大安・藤原										

休業日

臨時受入日

※ 臨時受入日の営業時間は通常営業日と同じです。

☎ 環境衛生課

☎ 86-7813

年末は混雑が予想されますので、**自宅で分別してから**搬入してください。

公共施設

施設名	12月				1月				
	28日	29日	30日	31日	1日	2日	3日	4日	5日
市役所	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)
シビックコア									
コンビニ交付									
文化施設・体育施設									
図書館									
子育て支援センター	午後休								
阿下喜温泉									

休業日

※「にぎわいの森」年末年始の休業日はホームページで確認してください。



救急時の診療

いなべ医師会<診療時間 9:00 ~ 16:00>

診療日時	在宅当番医	住所	電話
12月29日(水)	大安病院	大安町梅戸 732-2	77-0311
12月30日(木)	いなべ整形外科クリニック	員弁郡東員町大字山田字白草 3076-1	86-0555
12月31日(金)	杉山整形外科	員弁郡東員町穴太 1988-1	76-9933
1月 2日(日)	岩花内科	員弁郡東員町六把野新田 121-2	76-7500
1月 3日(月)	なかばやし小児科	員弁郡東員町笹尾東 1丁目 30-2	76-8888

福祉バス

ルート	運休期間
全ルート	12月29日(水) ~ 1月3日(月)

※ 積雪・凍結など安全運行に支障を来す道路状況、暴風警報発表時、震度5弱以上の地震発生時は運休します。

☎【北勢・藤原・市役所ルート】福祉バス管理室

☎ 72-3563

☎【員弁・大安ルート】三岐鉄道株いなべ営業所

☎ 78-3318



※ 在宅当番医制で救急時の初期対応をしています。救急で受診希望の際は、担当医療機関へ必ず電話で確認してください。

※ 疾患の内容によっては、他医療機関への受診を勧めさせていただくことがあります。

《在宅当番医を確認したい場合》

いなべ医師会ホームページをご覧ください。
(<http://inabe-med.or.jp/>)



桑員歯科医師会<診療時間 9:00 ~ 12:00>

診療日時	担当歯科医院	住所	電話	担当歯科医院	住所	電話
12月30日(木)	松岡歯科	桑名市桑部 535-4	24-4929	おかもと歯科	大安町石博東 1853-7	78-4141
12月31日(金)	田中歯科医院	桑名市大字矢田 318	22-2043	大塩歯科医院	桑名郡木曽岬町大字中和泉 97-1	0567-66-4181
1月 2日(日)	きらり歯科	桑名市陽だまりの丘 7-1512	32-7899	いわはな歯科	桑名市青葉町 1-13	84-5566
1月 3日(月)	アップル歯科	桑名市大福 472-2	24-3011	医療法人 船橋歯科	桑名市多度町戸津 470-5	48-5433



生活情報
「まいめる」



携帯用
「モバイルサイト」

救急医療情報

- 三重県救急医療情報センター ☎ 059-229-1199
- いなべ医師会(在宅当番医) ☎ <http://inabe-med.or.jp/>
- 医療ネットみえ ☎ <https://www.qq.pref.mie.lg.jp/>

人口情報(令和3年11月1日現在)

総人口: 45,030 (-43)
世帯: 18,739 (-11)
男: 23,070 (-20) 女: 21,960 (-23)



いなべ市情報誌 Link 年末号(vol.217) 令和3年12月1日発行
発行/いなべ市 編集/企画部 広報秘書課 〒511-0498 三重県いなべ市北勢町阿下喜 31
☎ 0594-86-7740 ☎ 0594-86-7857 ☎ <https://www.city.inabe.mie.jp/>